

# 三原市人権文化センターだより

発行/三原市人権推進課  
編集/三原市人権文化センター  
所在地/三原市長谷一丁目6番1号  
電話/0848-66-1111  
FAX/0848-66-1112

## 憲法を学ぶ市民の集い

日時 5月12日(金)

18:30~20:00

ところ 中央公民館2階中講堂

演題 身近な生活のなかに見える人権の課題

講師 新井 誠さん(あらい まこと)

(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)

定員 70名(先着順・申し込み不要・無料)

※車でお越しの場合は市営円一町駐車場をご利用ください。

(駐車券を会場へお持ちください。2時間無料になります。)



新井 誠(あらい まこと)

広島大学法科大学院(教授・憲法)

[大学院人間社会科学研究科実務法学専攻]

1972年 群馬県生まれ

慶應義塾大学大学院法学研究科後期

博士課程単位取得退学, 博士(法学)

2011年4月広島大学教授(法科大学院担当)

## 県内初の取り組み インターネットで人権相談ができます!!

対面や電話で相談しづらい幅広い悩みに対応するため、インターネットによる人権相談を受け付けることにしました。

【インターネット人権相談のポイント】

- スマートフォン等から悩みごとを気軽に相談できます。
- 市人権相談員がメールで適切な助言を行うほか、救済機関を紹介します。
- 相談無料、匿名での相談も可能です。

1 開始日 令和5(2023)年4月1日

2 流れ 市民が相談内容を入力・送信すると、それを相談員が確認し、メールで回答します。

人権相談2次元コード



## 三原市人権文化センターの 利用申し込みがインターネットからできます!

1 受付開始日

令和5(2023)年4月1日

2 申込みについて

インターネットによる申込みだけでなく、今までどおり申請書による申し込みも受け付けています。

センター申込み2次元コード



### 人権相談

人権相談員が相談をお受けします。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

◇とき 土・日・祝日を除く10時~16時

◇ところ 三原市人権文化センター

◇電話 0848-66-1111



「誰か」のことじゃない。自分自身のこととして考えよう。

# 人権のひろば



## 学ぶ！SDGs (持続可能な開発目標) (8)

SDGsは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標として、2030年度を達成年限とし、17のゴール(目標)で構成されています。“人権ひろば”では、人権に関する目標を紹介していきます。

### 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



### 【目標7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに】

世界ではおよそ10億人弱の人々が電力の利用ができておらず、教育を受ける機会を失い、健康が守られない状況が生まれています。また、およそ30億人が木炭や石炭、動物の糞といった有害で環境や人体に害を及ぼす燃料を調理や暖房に用いています。その結果、屋内の空気汚染により2012年には約430万人が亡くなっています。身体への悪影響などを回避・解消するため、また命に関わるだけでなく、温暖化の原因として地球の持続にとって深刻な問題とし、この目標達成が重要視されています。地球温暖化の最大の原因は二酸化炭素やメタンなどで全体の76%を占めています。世界で使われているエネルギーのうち、再生可能エネルギー(太陽光や風力など)を使って作られたものは、全体の17.5%ほどしかありません。目標では2030年までに、「すべての人が手ごろな価格で近代的なエネルギーをえる」、「環境に良いクリーンな再生可能エネルギーを増やす」などテーマに掲げ、今、世界中で目標7を実現するために、様々な取り組みが開始されています。

私たちが幸せに生きていくために、節電を心がけ、日常生活を少し意識することで、SDGsの活動に貢献し、未来のエネルギーをまもることにつなげましょう。

(参考:国連広報センター「持続可能な開発目標(SDGs)―事実と数字」)



## ★きょうは何の日? 4月 人権カレンダー

### 4月7日 世界保健デー

世界保健デーは、世界保健機関(WHO)が設立された1948年4月7日に(WHO憲章)を記念して設けられ、全ての人々の健康増進・保護に向けて世界の国々が協力し合うことや、健康や医療に関する啓発を行うことを目的としています。憲章では、健康とは完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。到達しうる最高基準の健康を享有することは、人種、宗教、政治的信念または経済的若しくは社会的条件の差別なしに万人の有する基本的権利の一つであると記載しています。WHOでは、保健関連の社会情勢に合わせた活動テーマを毎年発表しており、世界中の多くの国で、さまざまな健康のためのイベントが行われています。今年のテーマは、「Health for All(すべての人に健康を!)」です。